
世界を守りし力

霊琉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界を守りし力

【Nコード】

N3938BA

【作者名】

霊琉

【あらすじ】

はるか昔、神は魔物を生み出す霧と霧を操る者……霧者を生み出した。人間達は霧者に対抗する力を神から授かりかろうじて霧者を打ち倒した。だが、霧は消えず、今も人間と魔物の争いは続いている。

RPGによくあるようなストーリーで進めていきたいと思っています。

プロローグ（前書き）

「だって、つまらなかったから」

—— by 神 ——

プロローグ

―はるか昔のこと―
―神は世界を創造した―
―まったく何も無い世界―
―神は陸、空、海を生み出した―
―神は命を創り出し見守っていた―
―陸は緑が溢れ―
―空では鳥が羽ばたき―
―海では魚が優雅に泳ぐ―
―流れ行く時間の中で―
―ただ繰り返される日々に―
―神は退屈し、変化を求めた―
―神は1つの種族に高い知能を与えた―
―その種族は道具を作り使い始めた―
―神は歓喜し、さらに知能を与えた―
―種族は自分達で住処を作る―
―住処は集落となり街となる―
―街は大きくなり国となる―
―種族は平和に仲良く暮らしていた―
―神は再び退屈した―
―困難にぶつかろうとも解決する―
―そんな種族……人間に―
―ならば、と神は災いを与えようと―
―人間に試練を与える―
―魔物を生み出す霧―
―霧を管理するを作る力を持つ者―
―霧者^{ムシヤ}を生み出す―
―魔物は人間を襲い、街を壊す―

人間は立ち向かおうと武器を作る――
いくつもの命が魔物に奪われる――
神は人間に魔力を与える――
本来は悪魔が使う術を――
魔法を使えるように――
魔法の使用で魔物に対抗する人間――
だが霧者には勝てなかった――
面白くない――
そう感じた神は六人の人間に力を――
協力することで霧者を――
霧者をも上回る力を与えた――
神者と呼ばれ――
人間達の先陣を斬って霧者に――
立ち向かった――
かろうじて霧者に勝った人間は――
霧者を封印する――
だが、霧は消えず残ったまま――
今も世界を覆っている――
神は霧を防ぐ結界を作る力を――
人間に与えた――
その力を持つ一族を神の遣いを――
遣者と人間は呼ぶ――
人間達は結界を張った街に住み――
強い結界を張った街は都市となる――
神者の力は光闇炎水風地――
彼等の子孫達も力を受け継ぎ――
国王や旅人はたまた商人など――
様々な場所で生き続けている――
再び霧者が現れる――
その時のために――

「これがこの世界なら誰でも知ってる御伽噺。この御伽噺は真実でもあり真実ではない」

「神は神者を作り、霧者は魔王が作った。神と魔王、天使と悪魔……対になる存在があるように霧者にも対になる存在がいないとフェアじゃない」

「霧もずっとこのままってワケにはいかないよね。だから、魔王と相談して霧を止めるための手段を作ってあげたよ。人間のために……」

「おっと……今回はそこまでしか話せない。……紹介が遅れたね。私は人間から神と呼ばれている」

「……そうだね、ついでに話しておこう。これから始まるのは神者と霧者の子孫達の物語。彼等には再び戦ってもらわないと……私の退屈しのぎにね」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3938ba/>

世界を守りし力

2012年1月10日08時46分発行